

わかやま 県議会 だより No.21

平成25年[2013]
8月10日発行(年4回発行)

わかやま
ing
和歌山の現在進行形

ユネスコが支援する「世界ジオパーク」認定を目指して
「世界ジオパーク」とは、特徴ある地形や地質などを保護するとともに、
観光や教育に活用し、地域の持続可能な社会・経済発展を目指します。
現在、紀南地域の新宮市や白浜町など9市町村が認定に向け活動中。



6月定例会号

主な記事

- 2～3面 平成25年6月定例会の概要
- 4～5面 議員の紹介
～あなたのまちの議員を紹介～
- 6面 各委員会の紹介
- 7面 和歌山県中小企業振興条例(仮称)
～県民意見募集～
- 8面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

豊かな和歌山の資源を活かして

山田 議長 私が一貫して取り組んできたのが、地域に根差した、地域とともに歩む政治です。そして、地元を抱える問題を一つでも多く解決することにより、住む人が安心して暮らせるまちをつくり、地域から県全体を活性化したいと考えています。また、和歌山には多くの歴史や文化、自然など豊かな恵みがあり、このよさを全国へ届けたいと思います。

花田 副議長 私の故郷も風光明媚な景色が広がり、海山の幸も豊富で、環境は抜群です。しかし、少子高齢化で人口減少が進行してい

ます。この地域にもう一度子ども元気な声をこだまさせることが政治の重要な役割だと感じています。そのために、若者の定住化が不可欠な問題です。

議長 若者が夢を持って暮らせる環境をつくるためには、和歌山の資源を活かしたバランスのとれた社会を構築したいと考えます。和歌山には総合的な地域力があるんです。

副議長 近くには関西国際空港もあり、世界に向けた物流のポテンシャルも高水準です。その点にも



山田 正彦 議長

地域経済の活性化と 県民生活の向上をめざす

新しく就任した議長・副議長にこれからの和歌山について語っていただきました。

さらなる地域経済発展のために中小企業振興条例を

議長 夢と希望を持ち、安心して暮らすためには、まず働く場所とよりよい地域環境の確保が重要です。和歌山には、約4万社の企業があり、約24万人が働いています。そのうち企業数の約99.9%、従業員数の約87%が中小企業で、県の経済は中小企業が支えていると言っても過言ではありません。

なることで県の経済は活性化し、県民の暮らしが豊かになり、それによって和歌山に住みたいと思う人が増え、定住人口が増加するという理屈も成り立ちます。

議長 そのため、県議会では、経済の原動力である中小企業の振興を図ることで県経済を発展させ、県民の生活を豊かにすることを目的に、「中小企業振興に係る条例案検討会」において、中小企業振興の道しるべとなる「和歌山県中小企業振興条例」(仮称)の制定に向け、検討を重ねています。

副議長 私たちは、活力ある和歌山の実現のため、中小企業の振興を図るだけでなく県全体を元気にし、和歌山の魅力を高めることのできる条例にできればと考えています。

副議長 特に本県では、少子化の進行や県外への人の流出で人口減少が顕著であり、それに伴って物やサービスの消費が減り、それらを提供する中小企業は厳しい経営環境となっています。ただ、逆の見方をすれば、中小企業が元気に



花田 健吉 副議長



詳しくは、7面の「和歌山県中小企業振興条例」(仮称)へ

6月 定例会の概要

6月11日～6月28日までの18日間



知事提出議案ほか、意見書を可決

一般質問議員 15人

6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)	6月24日(月)
富安 民浩	片桐 章浩	長坂 隆司	松坂 英樹
立谷 誠一	鈴木 太雄	岩田 弘彦	谷口 和樹
多田 純一	高田 由一	濱口 太史	中村 裕一
新島 雄	谷 洋一	奥村 規子	

会期中の主な動き

- 議長及び副議長の選出 6/12
- 委員及び正副委員長の選出 6/12
 - 常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会
- 関西広域連合議会議員の選挙 6/12
- 特別委員会の開催
 - 人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会 6/21
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 6/24
 - 東南海・南海地震等対策特別委員会 6/24
- 条例案検討会の開催
 - 中小企業振興に係る条例案検討会 6/11、6/27

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件（知事提出）	7件	平成25年度和歌山県一般会計補正予算等	可決
条例案件（議員提出）	1件	議会の議員の議員報酬の臨時特例に関する条例	
条例案件（知事提出）	6件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	同意
人事案件（ // ）	3件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて等	
その他案件（ // ）	6件	関西広域連合規約の一部の変更について等	可決
知事専決処分報告（ // ）	4件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	承認
意見書	7件	防災・減災等に資する国土強靱化基本法の早期成立を求める意見書 「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書 災害時に備えたラジオ送信ネットワークの強靱化対策の早期実施を求める意見書 「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書 南海トラフ地震対策特別措置法の早期制定を求める意見書 風しん予防対策に関する意見書 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。（要約）

農林

問 現在、間伐材の有効活用について土木工事での様々な活用方法が提案されていると聞か、県としての間伐材利用への取組は。

答 間伐材については、県木材利用方針や木の国プロジェクト推進会議での紀州材の利用促進の検討等、需要拡大に取り組んでいます。木材はコンクリートや鋼材等と比較して強度特性、耐久性、コストなどの課題がありますが、今後、木製ガードレールや建築物等への利用拡大を図るため、木材等の活用マニュアルの整備や国に対する基準改定の要望など、さらなる利用促進への取組を進めていきます。

施設園芸農家への助成

問 今日の燃油価格の高騰は施設園芸設園芸農家の経営を圧迫しているため、県単独事業で助成制度を創設してはどうか。

答 燃油価格の高騰は施設園芸農家に深刻な影響を及ぼしており、国の24年度補正予算で創設された施設園芸セーフティネット構築事業における農家負担割合の軽減や燃油使用量15%以上削減要件、こういうものの緩和等を政府に要望しています。また、県単独事業の野菜花き産地強化事業により、省エネ機器導入費用に対し3分の1を補助しています。今後、県に要望も国に要望も活動を行うとともに、県の支援についても検討していきます。

産業

ものづくり補助金による取組

問 中小企業庁のものづくり補助金は、応募者が多く、経済波及効果も大きい。頑張る県内事業者のために今後どのように取り組むのか。

答 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金などの事業を活用してもらうよう、早くから事業者向け説明会を開催したほか、産業別担当者による県内企業への情報提供やわかやま産業振興財団のメルマガジンの活用等、様々な周知活動を行っています。この機会を捉え、県独自の提案公募型施策も総動員し、チャレンジを支援するなど、活力あふれる元気な和歌山経済の創造を目指します。

教育

いじめ事件の全容説明

問 市立中学校で発生したいじめ事件について、記憶が薄れる前に早く第三者委員会を設置して全容説明し、今後の教育現場に生かすべきではないのか。

答 事件の全容説明のために公平・中立の視点で事実調査を行うことが重要であり、県教育委員会としても早く第三者委員会を設置するよう当該市に再三要請してきたところ、6月17日、委員決定の発表が行われ、確認、検証がまとめられた際には、その調査結果を踏まえ、今後の指導に生かして、一人でもこうした子供たちが出ないよう全力を尽くしていきます。

新任教員の研修

問 新任教員には、日ごろの生活やクラブ活動での指導、進路相談、また人としての倫理観や責任感の醸成等、教師として

を行うことが重要であり、県教育委員会としても早く当該市に再三要請してきたところ、6月17日、委員決定の発表が行われ、確認、検証がまとめられた際には、その調査結果を踏まえ、今後の指導に生かして、一人でもこうした子供たちが出ないよう全力を尽くしていきます。

新任教員の研修

問 新任教員には、授業力の向上、児童生徒理解やコミュニケーションスキルの向上を図っています。また、初任段階の教員を複数年かけて支援することが重要であると考え、23日間の校外研修を3年間にわたり継続実施するとともに、300時間以上の校内研修も行っています。今後も、社会の変化や学校課題の多様化に対応できる教員の育成を図っていきます。

の研修が必要と思われるが、どうか。

健康・福祉



生活保護行政への取組

問 貧困問題が深刻化し、生活保護制度の利用者がふえているが、県として、餓死事件などが起らないようにするため、どのような取組をしているのか。

答 生活保護制度の周知徹底を図るため、県ホームページを活用するとともに、実施機関

でも、相談窓口に来られた方には「保護のしおり」できめ細かい説明を行っています。また、保護申請の意思が確認できた方には速やかに保護申請書を交付し、申請手続の助言を行うとともに、必要書類が整っていないことで拒否しないよう実施機関を指導しています。

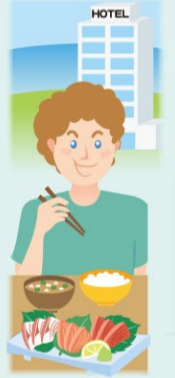
骨髄移植への支援

問 骨髄提供の手術をしたが、移植手術のため4日間の休暇をとらねばならなかった。ド

ナー休暇制度の導入促進など、積極的に進めていくべきではないのか。

答 ドナーとして骨髄提供を行うには数日間の入院が必要となるので、職場の理解が不可欠となります。県や市内の全ての市町村では骨髄提供時の休暇制度が導入されていますが、民間企業等では一部にとどまっています。今後とも、ドナー登録の機会拡大や普及啓発を行うとともに、休暇制度の導入について県内企業に働きかけていきます。

観光



外国人観光客への県産品PR

問 本県を訪れる外国人に対し、県産品を使用した料理を食してもらい、「和歌山はおいしい」と印象づけ、確実な和歌山ファンを獲得していったらどうか。

答 近年、輸出事業に取り組む生産者もふえているので、外国人観光客を受け入れている地元宿泊施設等とのタイアップによる商品PRの手法も生産者に提案していきます。また、和歌山を外国人観光客に強く印象づけるため、JAなどの生産者や地元関係機関とともに、年間を通じて県産品を使用してもらえるよう宿泊施設等に働きかけていきます。

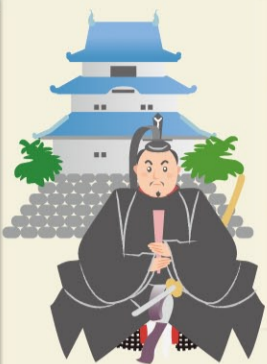
ハラール市場への進出

問 マレーシアのハラール市場への進出可能性と、進出した場合に観光面から期待できることは何か。

答 ハラール市場への対応はこれまで特段行っていないが、よく勉強して対応できるようにしていきます。マレーシアは昨年の訪日数が過去最高を記録し、今後一層の増加も予想される、大変有望な市場です。今後マレーシアへのプロモーションを継続・強化し、さらなる誘客に努めていきます。

解説 ハラール…主に、イスラム法で食べてもよいとされている物。イスラム教徒は、ハラール品であると認証されたもの以外の食べ物、飲物は避けなければならない。マレーシアは、世界で唯一、政府による認証が行われている。

文化



紀州徳川家創設400年祭の企画

問 徳川頼宣公が紀州藩主として和歌山に入り、2019年に400年を迎えるので、民間、市町村の協力を得て「紀州徳川家創設400年祭」を企画してどうか。

答 今年の伊勢神宮式年遷宮から3年連続で大イベントが続くことから、現在、積極的かつ戦略的な観光プロモーションを展開し、誘客拡大に取り組んでいます。次の目標として「紀州徳川家創設400年祭」の開催について積極的に考え、和歌山市をはじめ、いろいろな方に話を持ちかけたいと思います。

岩橋千塚古墳群の整備

問 岩橋千塚古墳群には800基を超える古墳があり、紀伊風土記の丘園内に約430基が特別史跡として存在しているが、古墳の保護、周辺地域を含む特別史跡の拡充はどうか。

答 岩橋千塚古墳群では平成7年度から11年度に周辺の指定地外の古墳の分布調査と発掘調査を実施し、特別史跡内の古墳と遜色のない貴重な古墳が多数存在していることが判明しています。このうち、天王塚古墳については、昭和40年ごろの学術調査によって首長級の墓であることがわかっていました。今後は国の文化財として保護されるよう、県としても積極的に働きかけてまいります。

岩橋千塚古墳群…和歌山市岩橋にある全規模の古墳群。この地区を中心に紀伊風土記の丘が開設されている。

国体

国体応援と観戦への対応

問 国体は、次代を担う子供たちにとってスポーツのすばらしさを感じさせる絶好の機会である。授業の長期休暇への振りかえ、また授業の一環としての応援や観戦についてどう考えるのか。



昭和46年黒潮国体

答 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会は、児童生徒への教育効果に極めて大きいものがあります。半世紀に一度の貴重な機会を生かすため、教育活動の一環として地元市町村で行われる競技を応援・観戦したり、児童生徒が個々に興味のある競技を県内全域で応援・観戦できるように、柔軟に対応してまいります。

土木

新宮港内の静穏度対策

問 新宮港内の静穏度を向上させ、大型船舶の入出港確率を高めるため、県は今後どのような対策を考えているのか。



答 新宮港は紀南地方の地域振興にとって重要な港であり、現在、船舶の安全な入出港や係留を確保するため、港内静穏度を向上させる防波堤の整備を実施中で、平成27年度完成を目標に取り組んでいます。防波堤が完成すれば所定の港内静穏度は確保されると考えますが、その効果を確認するため、昨年度から港内と港外に波高計を設置して波浪の観測を始めています。

くらし

高速道路高架下の開放

問 少年野球や少年サッカーの活動において、雨天練習場の確保に苦労している。南紀田辺インターから南への高速道路の高架下スペースを活用できないのか。

答 街路灯の修繕、維持管理は所有者が行うべきものと考えています。県としては、平成22年度から商店街のコミュニティ機能強化支援事業を実施し、商店街の空き店舗を活用した集客力が期待できる公益的的事业に対して補助を行っています。あわせて、担当者が頻りに商店街に行き、地元関係者とともに活性化への知恵を出し合い、実行する等の活動に取り組んでいます。

商店街の街路灯改修への支援

問 商店街が整備してきた街路灯で老朽化が進んでいるものがある。国の補助事業は今年度限りであるので、補助事業終了後も県と市町が連携して支援できないのか。



の議員を紹介します。

の紹介

岩出市
(定数2人)
欠員1人

山本
やまもと



茂博
しげひろ

有言実行 誠心誠意
根来文化を中心とした観光振興の推進と共に地域経済の発展につなげたい。

自民

岸本
きしもと



健
たけし

躍動和歌山 若い力で
教育基本条例の制定にむけて、プロジェクトチームの事務局長として一生懸命と取り組んでいます。

自民

山田
やまだ



正彦
まさひこ

熱い思い込め一歩前へ
市民が安心して暮らせる道路整備と、若者が定住して働ける職場環境づくりのために、全力投球!

自民



伊都郡
(定数1人)

門三
かどみ



佐博
さひろ

道路の整備で県土発展
政治の動きや各地でのふるさとと発展のために活躍されているニュース記事等広範囲に収集しています。

自民

紀の川市
(定数3人)

服部
はっとり



はじめ

元気で前向きに
少子高齢化が進み、過疎化の傾向にある。特性を生かすことにより県の活性化を図る。

自民

向井
むかい



嘉久
かく

故郷の元気が一番
20年来の夢であったコミュニティFMの地域への貢献と橋本市内への一万本桜植栽と蛍の里づくり。

自民

橋本市
(定数3人)

平木
ひらき



哲朗
てつろう

地域振興と発展
国道371号バイパス早期完成、農業・地場産業の振興・販路開拓に取り組みます。県・橋本市の発展!!

自民

岩田
いわた



弘彦
ひろひこ

地域活性化を加速
経済政策の効果を地元地域により早くより多く反映させ、少子化危機突破のための対策に取り組む。

自民

新宮市
(定数1人)

濱口
はまぐち



太史
たいし

地域に元気を取り戻す
高速道路実現への追い風が吹く中、経済、観光、防災等の地域力向上のための施策に力を注ぎます。

自民

田辺市
(定数3人)

鈴木
すずき



太雄
たいゆう

故郷づくりに全力を!!
ふるさとと発展の為に、豊かな地域資源を有効かつ、より積極的な攻めの政策により最大限生かすこと。

自民

大沢
おおさわ



広太
ひろた

一期一会
無我夢中の人生でしたが、大災害を目の当たりにして、日々感謝と一期一会を大切にしています。

自民

日高郡
(定数3人)

富安
とみやす



民浩
たみひろ

我が故郷に潤いを!
日高地方で採れる新鮮な海の幸・おいしい山の幸を旬の時期にいただくことが、最高の楽しみです。

自民

坂本
さかもと



登
のぼる

ふれ合いを大切に
梅、花、野菜、水産。郷土は、一次産品大国です。より強く豊かな、日高を目指します。

自民

花田
はなだ



健吉
けんきち

日高の明日を拓く
ミニタブレットを購入したのでフェイスブックの友達づくりに没頭しています。

自民

谷口
たにくち



和樹
かずき

子供が輝く未来を創る
「道路高架下を少年野球・少年サッカーの雨天練習場に!」等々、子供が元気に輝ける社会をめざします。

改新

西牟婁郡
(定数2人)

立谷
たちたに



誠一
せいいち

心豊かな和歌山創造
山間部に生活する高齢者の生きがい対策の一つとして少し汗を掻いて収入を得る取り組みを進めている。

自民

高田
たかだ



由一
よしかず

スポーツ、観光に力を
スポーツや観光産業を元気に。憲法が保障する「健康で文化的な生活」をめざしてがんばっています。

共産

東牟婁郡
(定数2人)

谷洋
たによう



一
いち

一生懸命地域の為に
水害からの復旧復興。南海トラフ地震の防災減災津波対策。高速道路紀伊半島一周と道路網整備。

自民

前芝
まえしば



雅嗣
まさつぐ

いつも笑顔で全力投球
会話ができるようになってきた東京の初孫と電話で話すること、酒の肴を作ることにまっています。

自民



あなたのまち 議員

多田純一



全国に誇れる和歌山を

「紀伊風土記の丘」を散策。そして岩橋千塚古墳群を通して、郷土和歌山の歴史認識を見直しています。

公明

角田秀樹



誠実 情熱 確かな行動!

安心、安全の街づくりに全力で取り組みます。防災・減災への推進!!

公明

和歌山市 (定数15人) 欠員1人

中拓哉



なかなか頑張る中拓哉

さりげない日常の茶飯事を憲法の視点からの理解に努め、自由権、社会権、参政権等の重要性を再確認。

公明

尾崎太郎



日本大好き宣言

たまに作る子供のお弁当。慣れない料理に悪戦苦闘。おかずのバリエーションをどう増やすか悩み中。

自民

宇治田栄蔵



誠実な行動、誠実な対応

空手道の指導を通じ、青少年の健全育成を図り、強い子を育てるとともに武道振興に努めています。

自民

長坂隆司



人に勝つより己に克て

紀の国わかやま国体上位入賞の為、選手強化や資金集めに日々!? 最善を尽くしたいものです。

改新

藤本眞利子



チルドレンファースト

全ての子ども達が安心して生きる社会、子どもに最善の利益を与えられる社会をめざしています。

改新

山下直也



県益確保こそ我が使命!

仕事(政治)です!お約束した「がん対策推進条例」はできました!次の目標に向かって活動中です!

自民

森礼子



いつでも全力投球で!

食育推進!食を通じ健康・道徳・食文化・観光へ地産地消から地域振興へと幅広く取り組みます。

自民

新島雄



英知を集めて県政へ!!

没頭している事は、しいて挙げれば健康管理!でしょうか、常に健康で、元気で居たいですから。

自民

井出益弘



安全豊かな都市づくり

主要道路の国体まで開通、バイオ燃料→普及促進、七瀬川改修や溜池整備、有害鳥獣対策と射撃研修場の建設。

自民

浦口高典



支え合う共生社会実現

『がんばろう日本 まけへんでえ和歌山』義援金街頭募金活動2年5ヶ月継続中、どうぞご協力を!

改新

奥村規子



地域のお祭を大切に!

古きをたずね新しきを知る。地域の歴史の足跡を探しています。昔の人々の暮らしをお教え下さい。

共産

雑賀光夫



雨二モマケズ

憲法9条を守り、原発をなくして、子どもたちが安心して暮らせる世の中を残すために...

共産

藤山将材



活かそう紀州の潜在力!

次代の担い手となる子どもたちのため、県民の皆さんの生活向上のため、県勢浮揚へまっしぐら!

自民

尾崎要二



いつも全力投球!

安全、安心のふるさとづくり、紀の国わかやま国体の成功に向かって全力で取り組んでいます。

自民

海南市 海草郡 (定数3人)

有田市 (定数1人)

浅井修一郎



安全安心のまちづくり

農作物の食酢による防虫防腐や給食調理時の殺菌滅菌効果等の研究。

自民

御坊市 (定数1人)

有田郡 (定数2人)

中村裕一



元気なふるさと和歌山

防災と景気対策に取り組む中。さらに今後の百年を考えて、薬学、医療系工学などの大学設置を主張します。

自民

吉井和視



めざせ地方分権!

暇があれば、歴史小説を読んでいる。そして、登場する地域の神社、仏閣を参拝している。

自民

松坂英樹



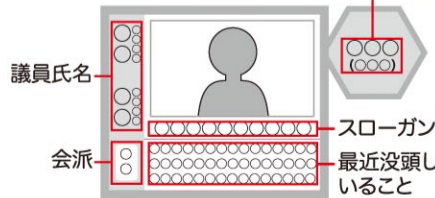
有田の魅力を広げたい

「ありだ広域キャンペーン」での一コマ。山椒や魚をはじめ魅力的な特産品もいっぱいです!

共産

議員紹介凡例

選挙区と定数



会派凡例

自民：自由民主党県議団/改新：改新クラブ
共産：日本共産党県議団/公明：公明党県議団



各委員会の紹介



◎委員長 ○副委員長

本会議

議会の権限について最終的な意思決定を行います。



議会運営委員会 (定数12人) ※図書委員会委員を兼任

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項等について調査審議します。

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ◎坂本 登 | ○平木 哲朗 | 藤山 将材 |
| 服部 一 | 岸本 健 | 中村 裕一 |
| 富安 民浩 | 吉井 和視 | 大沢広太郎 |
| 浦口 高典 | 松坂 英樹 | 多田 純一 |

審議内容

- 本会議の進め方
- 意見書・決議案 など

委員会の役割

本会議

委員会付託

本会議で提出された議案などを詳しく調べるため、委員会に審査を付託します。最も関連のある常任委員会や、その議案を審査するため特別に設けられる特別委員会等に送られます。

調査

議案を付託された委員会では、その事務を担当する部局長等の出席を求め、詳しい説明を聞きます。また、所管事務の説明聴取や質疑、県内外の現地調査等を行います。必要に応じ、閉会中も活動します。



審査

調査を元に議案を討論・審査し、委員会としての意思を決定します。



本会議

表決

委員長が委員会での審査の結果を本会議に報告します。議案について、議員が賛成・反対の意見発表をし、多数決で議案の可否を決定します。

常任委員会

総務委員会 (定数7人)

- ◎尾崎 太郎
- 雑賀 光夫
- 立谷 誠一
- 新島 雄
- 山田 正彦
- 平木 哲朗
- 谷口 和樹

所管する部局

総務部・企画部・会計局・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・他の常任委員会の所管に属しない事項

審議内容

- 県財政
- 長期計画
- 国体・防災 など

福祉環境委員会 (定数7人)

- ◎中 拓哉
- 岸本 健
- 岩田 弘彦
- 中村 裕一
- 花田 健吉
- 片桐 章浩
- 奥村 規子

所管する部局

環境生活部
福祉保健部

審議内容

- 子ども・子育て
- 高齢者対策
- 産業廃棄物処分施設許可 など

経済警察委員会 (定数7人)

- ◎浅井修一郎
- 藤山 将材
- 山下 直也
- 宇治田栄蔵
- 尾崎 要二
- 長坂 隆司

(欠員1人)

所管する部局

商工観光労働部
公安委員会
労働委員会

審議内容

- 観光
- 産業と雇用
- エネルギー
- 交通安全と治安 など

農林水産委員会 (定数7人)

- ◎山本 茂博
- 藤本眞利子
- 井出 益弘
- 鈴木 太雄
- 前芝 雅嗣
- 谷 洋一

(欠員1人)

所管する部局

農林水産部
海区漁業調整委員会
内水面漁場管理委員会

審議内容

- 農業・林業・水産業の振興 など

建設委員会 (定数7人)

- ◎森 礼子
- 濱口 太史
- 門 三佐博
- 富安 民浩
- 大沢広太郎
- 高田 由一
- 角田 秀樹

所管する部局

県土整備部
収用委員会

審議内容

- 道路網・港湾整備
- 治水・砂防事業
- 都市政策・公園・建築 など

文教委員会 (定数7人)

- ◎服部 一
- 坂本 登
- 吉井 和視
- 向井嘉久蔵
- 浦口 高典
- 松坂 英樹
- 多田 純一

所管する部局

教育委員会

審議内容

- 学校教育
- 生涯学習・文化財
- 保健体育・スポーツ など

特別委員会

東南海・南海地震等対策

特別委員会 (定数11人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎中村 裕一 | ○角田 秀樹 |
| 濱口 太史 | 藤山 将材 |
| 鈴木 太雄 | 山田 正彦 |
| 富安 民浩 | 花田 健吉 |
| 片桐 章浩 | 長坂 隆司 |
| 高田 由一 | |

東南海・南海地震等諸般の災害に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 南海トラフ巨大地震対策
- 台風等による土砂災害対策
- 紀伊半島一周高速道路の整備
- 公共施設の高台移転の促進 など

人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会 (定数10人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎向井嘉久蔵 | ○奥村 規子 |
| 立谷 誠一 | 岩田 弘彦 |
| 平木 哲朗 | 岸本 健 |
| 森 礼子 | 吉井 和視 |
| 藤本眞利子 | (欠員1人) |

人権、少子高齢化、環境問題等に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 少子高齢化対策
- 災害廃棄物処理 など

行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (定数10人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎山下 直也 | ○浦口 高典 |
| 尾崎 太郎 | 新島 雄 |
| 門 三佐博 | 井出 益弘 |
| 服部 一 | 尾崎 要二 |
| 雑賀 光夫 | 多田 純一 |

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議します。

審議内容

- 行財政改革
- 関西広域連合 など

半島振興・交通・産業振興対策特別委員会 (定数11人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎大沢広太郎 | ○浅井修一郎 |
| 山本 茂博 | 坂本 登 |
| 宇治田栄蔵 | 前芝 雅嗣 |
| 谷 洋一 | 谷口 和樹 |
| 松坂 英樹 | 中 拓哉 |

(欠員1人)

半島地域の振興対策及び交通・産業の振興に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 半島振興
- 交通対策
- 産業振興 など

予算特別委員会 (定数19人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎大沢広太郎 | ○前芝 雅嗣 |
| 尾崎 太郎 | 新島 雄 |
| 山下 直也 | 井出 益弘 |
| 服部 一 | 山本 茂博 |
| 宇治田栄蔵 | 尾崎 要二 |
| 浅井修一郎 | 中村 裕一 |
| 森 礼子 | 吉井 和視 |
| 谷口 和樹 | 片桐 章浩 |
| 奥村 規子 | 中 拓哉 |
| 角田 秀樹 | |

県の予算を総合的に審議します。

審議内容

- 一般会計予算
- 特別会計予算 など

中小企業振興に係る条例案検討会

座長 尾崎 要二	副座長 前芝 雅嗣
尾崎 太郎	富安 民浩
新島 雄	岸本 健
服部 一	花田 健吉
平木 哲朗	谷 洋一
片桐 章浩	浦口 高典
雑賀 光夫	多田 純一

和歌山県は、事業所のほとんどを中小企業が占める中小企業立県であり、本県にとって、中小企業は県経済や地域社会を牽引する原動力と言えます。県議会では、そのような重要な役割を担う中小企業を振興することにより、本県経済の持続的な発展と県民生活の向上を実現することを目的とした、議員提案による「和歌山県中小企業振興条例」(仮称)の制定に向け、現在、検討を重ねています。

このほど、条例の検討内容をまとめた「あらまし」を作成しました。この「あらまし」について、県民の皆さんにご意見をいただき、よりよい条例にしていきたいと考えています。

ご意見の募集は、下記のとおり行います。ぜひ、ご意見をお寄せください。

県民意見募集

和歌山県中小企業振興条例(仮称)

和歌山県中小企業振興条例(仮称)の内容

目的

本県経済において重要な役割を果たす中小企業の振興に関して、「基本理念」、「県をはじめとする関係者の責務・役割」、「県の施策の基本事項」を明らかにすることにより、中小企業の振興に関する施策を総合的に推進し、本県経済の持続的な発展と県民生活の向上に寄与することを目的とします。

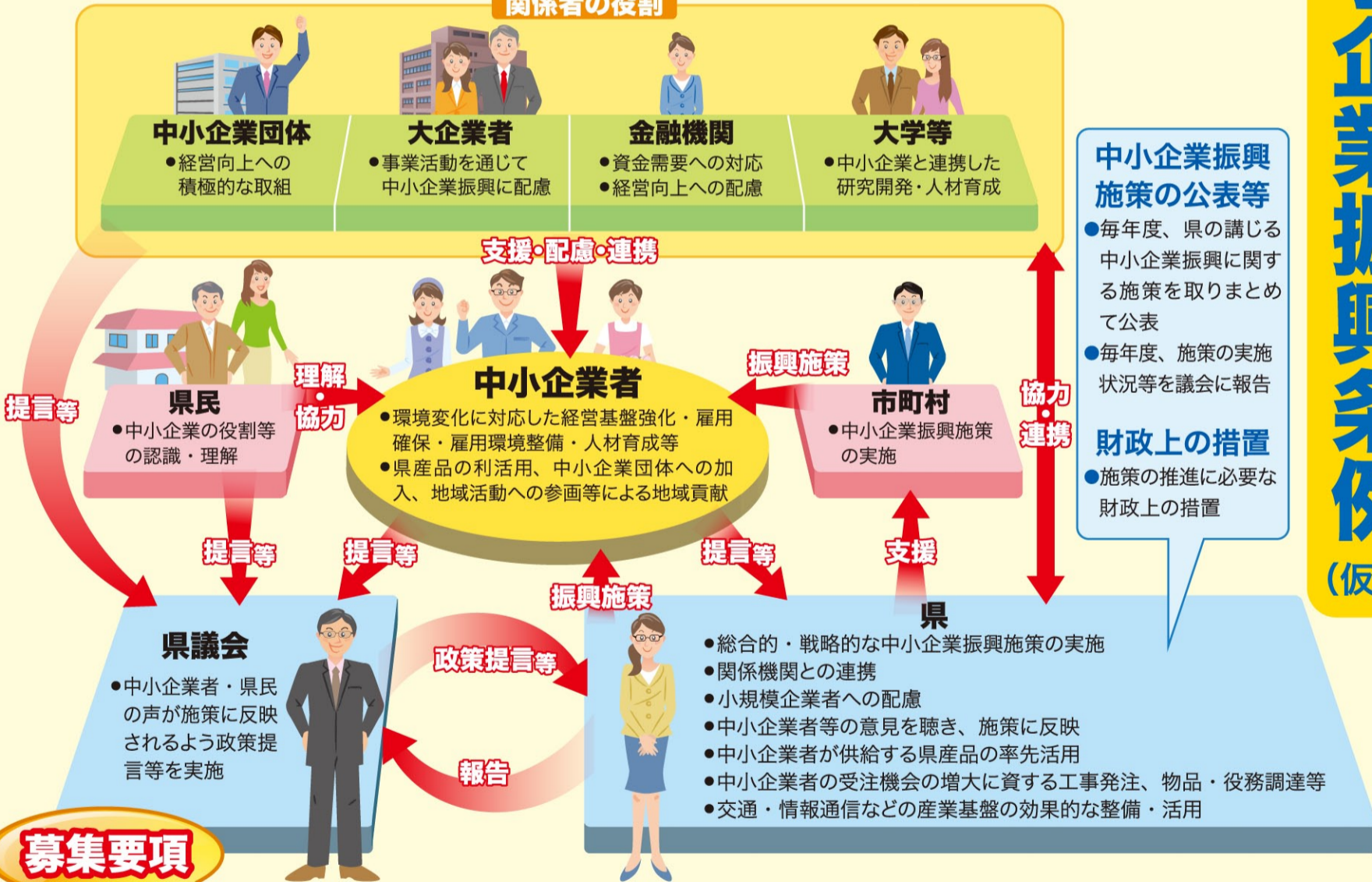
基本理念

- ①中小企業者の創意工夫及び自主的な努力が促進されることを基本とし、その成長が図られること
- ②中小企業が地域経済の活性化及び雇用の創出に貢献し、地域社会の担い手として県民生活を支える重要な存在であるという基本的認識を持つこと
- ③地域に集積された豊富な人材や優れた技術のほか、豊かな自然や歴史、文化といった観光資源及び農林水産物など、本県が有する地域資源の活用を図ること

基本方針

- ①経営革新の促進及び経営基盤の強化
- ②製品開発及び販路開拓の支援
- ③創業及び新たな事業の創出の促進
- ④事業活動を担う人材の育成及び確保
- ⑤資金供給の円滑化
- ⑥知的財産の活用及び産学官連携
- ⑦国際的視点に立った事業展開の促進
- ⑧中小企業者の事業活動の振興に資する企業誘致の促進
- ⑨農工商連携及び6次産業化並びに医療福祉分野等との連携の促進
- ⑩まちの賑わいにつながる商業振興の促進
- ⑪中小企業者の製品や技術等に関する情報の発信

関係者の役割



募集要項

①募集期間 平成25年8月10日(土)から8月31日(土)まで

②詳しい内容は…

和歌山県議会ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県の機関でも条例のあらまし等を配付しています。
 - ・ 県議会事務局政策調査課・図書室(県庁議会棟・北別館2階)
 - ・ 県情報公開コーナー(県庁本館2階)
 - ・ 各振興局地域振興部企画産業課

③ご意見の提出方法

ご意見は、住所・氏名を明記の上、次のいずれかの方法でお送りください。様式は自由です。

●Eメール: e2003001@pref.wakayama.lg.jp

●ファクシミリ: 073-441-3581

●郵送: 〒640-8585

(宛先住所の記載は不要です。)

和歌山県議会事務局 政策調査課 政策班

* 電話でのご意見は受け付けておりませんので、ご了承ください。Eメールをご利用いただけると幸いです。

④ご意見の取扱い

いただいたご意見は、個別にお返事はいたしません。取りまとめの上、ご意見とその回答を県議会ホームページで公表させていただきます。

なお、住所・氏名などの個人情報は公表いたしません。

また、いただいた情報については、本意見募集以外の目的に使用することはありませんので、安心してご意見をお寄せください。

お問い合わせ先 県議会事務局 政策調査課 政策班(直通電話)073-441-3580



議会活動の紹介 Topics

中小企業振興に係る条例案検討会 (第4回・第5回) を開催

県議会では、昨年9月に中小企業振興に係る条例案検討会(尾崎要二座長)を設置し、議員提案による政策条例である「和歌山県中小企業振興条例」(仮称)の制定に向けて検討を進めています。

6月11日に開催した第4回検討会では、前回お招きした県内経済5団体代表の方々につき、和歌山県中小企業家同友会の石橋幸四郎代表理事をお招きし、条例案検討に当たっての御意見・御提案をいただくとともに、県民意見募集を行う「中小企業振興条例(仮称)のあらまし」について検討を行いました。

また、6月27日に開催した第5回検討会では、前回に引き続き「条例のあらまし」について検討するとともに、県民意見募集の実施方法等について協議を行いました。

今回、これまでに5回の検討会を経てまとめた「条例のあらまし」について、県民の皆様から御意見をいただき、よりよい条例にしていきたいと考えていますので、積極的に御意見をお寄せいただければ幸いです。

なお、県民意見募集の概要については、7面をご覧ください。



関西広域連合議会6月臨時会開催(6月29日)

関西広域連合議会6月臨時会が大阪市北区にあるリーガロイヤルNCBで開催されました。本県議会からは、中村裕一議員、山下直也議員、多田純一議員の3名が出席しました。

また、本会議において、山下直也議員が一般質問を行い、「関西における交通ネットワーク整備の推進について」、「関西広域連合における国家戦略特区に対する取組について」、「関西広域連合における脱法ドラッグに対する取組について」の3項目を質問しました。

とりわけ、「関西における交通ネットワーク整備の推進について」の質問の中で、「アジアの国際物流圏・次世代産業圏を担う広域関西の実現」や「大規模災害に備えた※リダンダンシーの確保」のための必要なインフラとして、紀淡海峡ルートをはじめとする関西大環状軸等の整備や関西国際空港からの都心アクセス改善に向けた高速鉄道の整備について、関西広域連合としてどのように考えるかただしました。

本質問に対し、関西広域連合副連合長(仁坂和歌山県知事)から、紀淡海峡ルートをはじめとする関西大環状軸の実現は、「1. 四国と関西が直接つながる。2. 国土軸としてのリダンダンシーの確保になる。3. 関西国際空港への高速鉄道の実現につながる。4. 四国新幹線の実現につながる。5. 関西大環状軸道路の実現となる。」などの意義が出てくるため、関西広域連合としても、関西の発展に必要なインフラ整備については、関西全体で協力して国に働きかけたいとの答弁がありました。

県議会としても、この大きな夢のある構想実現に向け、関係府県等と連携し、積極的に国に働きかけていきたいと考えています。

また、8月29日(木)に、関西広域連合議会8月定例会が本県本会議場において開催されます。当日は、傍聴席も用意されますので、ぜひ一度、関西広域連合議会の傍聴にお越しください。

※リダンダンシー…補完性を意味し、災害等で全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワーク等を多重化しておくこと。



県議会からのお知らせ Information



テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送 (9月定例会の放送予定 9/10、17~20、27)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

定例県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送 (9月定例会の放送予定 9/10、17~20、27)



県議会ホームページ

和歌山県議会



<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。

また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



「点字版・テープ版」の案内

本紙の点字版・テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。



傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成25年9月定例会 会期日程(予定)

本会議	9月10日(火)
本会議(質問)	9月17日(火)~20日(金)
常任委員会	9月24日(火)・25日(水)
本会議	9月26日(木)・27日(金)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄付行為の禁止 (本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

